

静岡県は、富士山の噴火から24時間以内に溶岩流が到達する範囲を15パターン(AからO)予想しています。長泉町に影響があるのはパターンDです。



備蓄品をチェックしましょう

災害から復旧までの数日間を支える

◆揃えた備蓄品（食料品、生活用品、医薬品など）は定期的な点検が必要です。

◆消費期限があるものは、ローリングストックをお勧めします。

ローリングストック

消費する → 補充する

消費する → 補充する

非常用持ち出し品準備のポイント

避難するときですぐ持ち出せる準備

◆両手使えるリュックサックなどに、避難の時必要なものをまとめて、家族全員の目につきやすい場所に置き、すぐに持ち出しやすいようにしましょう。

◆家族構成等を考えて、常備薬など必ず必要なものを必要な分だけ用意しましょう。欲張りすぎると、避難が大変になります。

◆ラジオは、正しい情報を得るために必要です。予備の電池は多めに用意しておきましょう。

飲料水、食料品、医薬品、貴重品、衣類等・衛生用品、情報収集（ラジオ等）

長泉町からの避難指示をもとに避難の行動をとってください。自ら危険を感じたら、避難指示を待たずに避難することも必要です。

噴火後24時間以内の避難行動

避難は、気象庁や町からの情報をもとに住民の皆さんの判断で行って下さい

公的避難とは

長泉町から出される避難指示をもとに、指定一時集結地へ徒歩又は自家用車（乗り合いを含む）で避難。避難対象エリアの地区（避難対象地区）に、気象庁より発表される噴火警戒レベルを受け、長泉町より避難に関する指示が発令されます。

自主的避難とは

気象庁から発表される噴火警戒レベルや長泉町から出される避難指示をもとに、自家用車（乗り合いを含む）等で、避難対象エリア外の親戚・知人宅や遠方の宿泊施設等へ避難。

第4次避難エリアの方は → 噴火前に避難

富士山の溶岩流の流れを判断するには約24時間かかります。このため第4次避難エリアの方は噴火前の避難が必要です。

第4次避難対象エリア

長泉町、三島市、沼津市

溶岩流は黄瀬川を川伝いに流れます

長泉町の溶岩流 流下パターンDと第4次避難エリアは同じです

パターンD 第4次避難エリア

避難行動(手段)

一般住民 → 公的避難 → 指定一時集結地

避難行動要支援者 → 公的避難 → 指定一時集結地

自主的避難 → 親族・知人宅、遠方の宿泊施設等

避難対象地区と避難先(指定一時集結地)

避難対象エリア区分	避難のタイミング	避難対象地区(区・班)	指定一時集結地
第4次避難対象エリア	噴火警戒レベル4	南一色区 ①②⑥⑦⑧⑨⑩⑫⑬⑭⑮⑯班	長泉小学校
		東一色区 ①②③④⑤⑥班	
		荻原区 ①②③④⑤⑥⑩⑪⑫⑬⑭⑮班	長泉中学校
		下長窪区 ①②③④⑤⑥⑩⑪⑫⑬⑭⑮班	
		尾尻住宅区	南小学校
		納米里区 ①②⑦⑨⑩⑪⑬⑭⑮班	
噴火警戒レベル5	鮎薮区 ①②③④⑤⑥⑦⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯班	知徳高校	
	本宿区 ①③⑥⑦⑧⑩⑫⑬⑭⑮⑯班		
	シャルマン区		

北小学校(溶岩流により分断される可能性があるため開設しません) 北中学校(24時間以内の溶岩流到達範囲のため開設しません)

防災情報及び避難情報 正しい情報の入手

噴火発生危険性が高まっている時、また噴火発生時には、正しい情報を入手しましょう。

気象庁 消防庁

報道機関 テレビ・ラジオ

Jアラート・プッシュ型通知サービス

住民

長泉町

同報無線・防災ラジオ

長泉町 Web サイト

長泉町の防災情報

長泉町公式 Facebook

長泉町公式 Instagram

長泉町公式 X(エックス)

長泉町公式 LINE

長泉町の防災情報(気象庁)

気象庁が提供する発表中の防災情報、雨雲の動き、天気予報、アメダス、地震情報などが閲覧できます。

静岡県の公式防災アプリ

Androidはこちら iPhoneはこちら

同報無線、発令中の避難情報、長泉町の停電・気象情報、ハザードマップなどの情報を入手できます。

安否情報の連絡方法 家族に安否を知らせるために

災害時伝達

玄関先等へ「避難したこと」「避難先」を掲示して下さい！迅速な救助活動の助けとなります！

災害用伝言ダイヤル 171

災害が発生し、被災地への通話がつながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。詳しくは「NTT 西日本災害用伝言ダイヤル(171)」を確認しましょう。

伝言の録音方法

伝言の再生方法

災害用伝言板 web171

インターネットを利用した安否確認の伝言板です。パソコンやスマートフォン、携帯電話等で利用できます。

利用方法

web171へアクセス https://www.web171.jp

被災地の人の電話番号を市外局番から入力

伝言を登録・確認

噴火後24時間以降の避難行動

噴火発生後、溶岩が長泉町に流れてくる可能性が判明した場合は、第5次・第6次の地区に避難指示が発令されます

溶岩シミュレーションL35などの大規模噴火の場合

(溶岩流が最終的に到達する可能性がある範囲)

自主的避難

公的避難

第5次・第6次エリアの地区の方、避難指示に従い、長泉町内の一時集結地へ避難してください

第4次避難対象エリア

第5次避難対象エリア

第6次避難対象エリア

一時集結地へ避難後、溶岩流が長泉町へ流れてくる可能性が高まった場合、長泉町外への**広域避難**となります。

避難先は…熱海市、伊東市、伊豆の国市、函南町

凡例

第4次避難対象エリア

第5次避難対象エリア

第6次避難対象エリア

溶岩流(7日～約57日程度到達範囲)